

一本木沢ビオトープ親自然体験2024

令和6年7月27日（土）、十和田市東コミュニティセンターにて一本木沢ビオトープ親自然体験2024が開催されました。このイベントは全3回開催予定で、第1回目のテーマはホタルです。残念ながらこの日は雨天により、野外でのホタルの観察会は中止となってしまいましたが、講師として招かれた北里大学獣医学部の柿野准教授によるホタルについての学習会と、ビオトープで採取された生き物の観察会が行われました。



【学習会の様子】

学習会では、ホタルの種類その他、どのような場所に住み、何を食べて成長するか等について講義がありました。その中でホタルの幼虫の餌であるカワニナとよく似た外来種であるコモチカワツボはとても殖えやすく、それでいてホタルの栄養にならないため成虫になっても光れないといったことを学ぶことができました。

また観察会ではビオトープに生息する貝類が紹介され、カラスガイ等の二枚貝の仲間は生まれた後は魚類のヒレに食いついて寄生し、ある程度大きくなったら自分から離れていくという生態が紹介され、子供たちは驚いた様子で聞き入っていました。



【観察会】



【集合写真】

次回の一本木沢ビオトープ親自然体験は8月24日（土）で、テーマはトンボです。十和田市にお住まいの方はぜひご参加ください。詳細は十和田市広報誌「広報とわだ」7月号をご確認ください。

<https://www.city.towada.lg.jp/shisei/koho/kohotowada/files/202407all.pdf>

関連事業：県営一本木沢地区農村振興総合整備事業（H9～16）